

# 2学年通信

## Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 52号 通算 116号

2016.9.6 (火) 発行

### 品格とは I

文責 横山

あの便利なタイトルから決別したのは、「女性の品格」の著者である坂東眞理子さんの影響が少なからずあります。私がこの本、そして坂東眞理子さんに興味を持ったのは「街角で無料のティッシュをもらわない。それは、女性の品格の1つです」という一文に出会ったからです。

実は私はティッシュ配りへの対応が苦手なのです。東京や大阪、仙台などに行くと駅周辺や繁華街でそのような人達が沢山います。私は田舎者なので「もらわないといけないかな」けれど「余計なものはもらたくないな」という2つの狭間に揺れます。前者は性善説というか、世の中に悪人はいないというか、「きっと、あの人は私のためにティッシュを配ってくれている」とのだから出されたモノを受け取らないのは失礼という思い。おばあちゃんの漬けたナスがどんなに塩辛くても「美味しいね!」と言って食べる、そんな感じ。後者は、特に近頃そう思うこと。若い頃、もらえるモノは何でももらっていたし、それ自体に何の疑問も持たなかったし、いつか使えると貯め込んでいた。でも実は使わない。そして今では面倒くさくなって、自分の身周りには最低限のモノでいいやと思う。余計なものは増やさないし、少なくとも貰うことで儲けた!という気持ちは持ちたくないなど。興味を持った1つがティッシュ。

もう1つが「品格」という言葉。毎年多くの高校生や新たな同僚と出会うし、職場以外でも、子供の学校関係や趣味関係で出会う人も多い。思えば「人間観察」を無意識のうちにしてしまう少年だったし今もそう。多くの人を見ていると、「イナ!」と感じる人もいる。また、そうでもない人もいる。それは、もちろん初見であれば「見た目」が大半なのだけれど、話をしたり仕事をしたりと同じ時間を共にすごすと、イナ!という思いが「見た目で無く」なってくる不思議。では、そのイナ!はどこからやってくるのかという疑問。このことは積年の疑問であったのだけれど、それは「その人の品格」なのかもしれないと思ったこと。また同時に、品格を形作るものとは一体何であるか、品格はいつどのように身につくのか、少なくとも学校じゃ教えていないよな、という自責もあるので考えてみたい。

これらを解決してくれそうなのが本書かもしれないという期待を胸に書店に向かったら、財布を忘れてきたとか、趣味の車の本を優先して買ってしまったとか、紆余曲折がありダラダラ延び延びになったのだけれど、今日、図書館で司書のH先生から「先生、ありますよ!」とお借りできたので今晚読もうと思う。米興で「最も品格の無い教員が品格について書く」という壮大なチャレンジ。坂東先生のお言葉をお借りしながら、50にして初めて品格について考えてみようと思った? もしかしたらIで終わるかもしれないけれどね。このシリーズが終了する頃には、溢れるほどの「女性の品格」が身につけてしまい、私の職場が変わるかもしれないね!? では、乞うご期待!**終**

女性の品格 坂東眞理子 PHP 研究所 →



### 品格とは II

文責 横山

明日書こうと思ったのですが、生徒諸君に「明日野郎は〇〇〇〇」と言った手前もあるので今日読んだ分で少し書こうと思う?坂東先生(ここから先生)は人間個人としての品格を、

正義感、責任感、倫理観、勇気、誠実、友情そして、忍耐力、持続力、節精心があり判断力、決断力に富み、優しく思いやりがあるなどという美德は、品格ある人間であるための重要な要素です。

と話しておられます。パソコンで打っていながら「無理!」って叫んでいました。この中で自信を持って「私にあるかなと思えること」アナタはいくつありますか? また、続けて

自分の利益だけを追及しない、弱い人をいたわり助ける、強い人におもねらない自分の受けた親切に恩返しする。逆に「勝てば官軍」「稼ぐが勝ち」のような手段を選ばずという生き方は卑しい。人のものを盗む・壊す・人を傷つける・人を妬み悪口を言うなどという行動は、どのような社会でも宗教でも禁止されています。

1つ1つの言葉・文章を我が身に置き換えると、本当に恥ずかしくなります。でも今、品格が無いからこそ、品格を学ぼうとしているわけですから(私もアナタも?)このような人になることを将来的な目標にして日々生きていけばいいのだと思います。また先生は、

人は教えがあっても、なかなかよいことができず、悪いことをしてしまう弱い存在です

と我々の弱さも認めておられます。常に教えの通り100%行動することは、どんな人でも難しいのです。ですから、教育や学習、家庭・信仰などを通じて繰り返し善行を教え(学び)多くの人とその意味を考え、次代に伝えていかなければならないと言います。また、ここまで挙げたものは女性に限るものではありません。これらは「人としての品格」です。では、先生があえて「女性の」とされ、そのようなことを伝えようと思った理由は3つあるそうです。

- ① 現代は女性の生き方や役割が変わったにも関わらず、新しい基準が確立せずに混乱がみられる。よって、新しい美德が求められているから。
- ② 女性も男性の轍を踏んで同じような権力志向・拝金試行になってはいけない。従来の男性と異なる「人間を大切にするよき女性らしさ」を発揮してほしいから。
- ③ 地球規模で抱える問題に対して、個人としても社会としてもどのように生きるかが問われている。地球レベルでの女性の品格が求められているから。

このような考え方を根底に置き、読みすすめていき、女性はもちろん「人として」の品格を考えてみようと思います。これを契機にみなさん一緒に考えてみましょう。なお、図書館で借りた本では折り目をつけられないので(私はいつもそうします)、K書店で購入しました。やはり「自分の本」というのもいいものですね。昨夜読んで、私は既に1%成長しましたよ!**終**



前回掲載できなかった興譲祭の写真です。「表で枠を作ってから写真を貼る」と楽です。皆さんもこのテクどうぞ!?